感染研発第２５０号
令和２年７月３日

各関係機関の長　　殿

国立感染症研究所長
（公印省略）

研究職員の公募について（依頼）

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度当所では下記のとおり研究職員を募集することになりました。
つきましては、貴下職員に御周知下さるようお願い申し上げます。

記

１．職名等

職名	業務内容	応募資格
エイズ研究センター 第一研究グループ 任期付研究員 （若手育成型） (募集人数１名) 任期：採用予定日より２年 ※　任期付研究員（若手育成型）としての再任はありません。 ※　任期満了後に任期の定めのない官職の公募に応募することは差し支えありません。	エイズ研究センターは、ヒト免疫不全ウイルスその他のレトロウイルスに起因する感染症に関し、次に掲げる事務をつかさどる。 一　病原及び病因の検索並びに予防及び治療の方法の研究（これらに関するレファレンス業務を含む。）及び講習を行うこと。 二　予防、治療及び診断に関する生物学的製剤の生物学的検査、検定及び試験的製造並びにこれらの医薬品の生物学的検査及び検定に必要な標準品の製造並びにこれらに必要な科学的調査及び研究を行うこと。 第一研究グループにおいては、ヒト免疫不全ウイルスその他のレトロウイルスに起因する疾病制圧のための感染予防に関する緊急に必要な調査及び研究に関することをつかさどる。 うち採用予定官職では主に次の業務を行う。 １．ヒト免疫不全ウイルス感染症における免疫機能に関する研究。 ２．ヒト免疫不全ウイルス感染症における腸内マイクロバイオームに関する研究。	１．腸内マイクロバイオームに関する研究実績を有すること ２．ヒト免疫不全ウイルス感染者検体を用いた研究および動物実験の経験を有すること ３．国際共同研究実績を有すること ４．大学院博士課程修了後４年以内の学位（博士）取得者、もしくは同等と認められる者 ＊上記１から４を満たすもの

２．提出書類
(1)履歴書（市販用紙使用、高等学校卒業以降を記入し、写真を貼付。）
(2)主要研究概要（１，２００字以内）
(3)応募職の業務内容に関する抱負（１，０００字以内）
(4)業績目録（Ａ４版縦　横書き、別紙参照）
　※　査読有りの論文については最低限、記載すること。
(5)論文別刷（１編以上）
(6)学位記（写し）又は学位を証明するもの（Ａ４に縮小すること）

３．書類提出先及び提出方法
　〒１６２－８６４０　東京都新宿区戸山１－２３－１　国立感染症研究所　所長　脇田　隆字

※　応募書類の封筒に、「エイズ研究センター　第一研究グループ　任期付研究員　応募」と朱書きの上、所長宛て親展として書留にて郵送してください。なお、提出された書類は返却いたしません。

４．応募締切日　　令和２年８月７日（金）必着

５．採用予定日　　令和２年１０月１日（予定）

６．任期　　採用予定日より２年

　※１　任期付研究員（若手育成型）としての再任はありません。
　※２　任期満了後に任期の定めのない官職の公募に応募することは差し支えありません。
　※３　一般職の任期付研究員の採用、給与及び勤務時間の特例に関する法律第３条第１項第２号によって国立の試験研究機関に任期付研究員として採用されたことのある方は応募できません。

７．処遇
　（１）給与は、「一般職の任期付研究員の採用、給与及び勤務時間の特例に関する法律（平成９年６月４日法律第６５号)」等に基づき、知識経験等を勘案して決定します。
　（２）１週間当たりの勤務時間は、３８時間４５分（週休２日制）です。
　（３）年２０日の年次休暇（採用の年は、採用の時期により２０日より少ない日数となります。）のほか、特別休暇（夏季・結婚・忌引・ボランティア等)、病気休暇の制度が整備されています。

８．選考採用試験スケジュール
　（１）第１次審査（書類選考）　令和２年８月中旬（予定）
　（２）第２次審査（面接試験）　令和２年８月中旬～８月下旬（予定）
　※　第１次審査（書類選考）を通過された方には、当方から第２次審査（面接試験）に関する連絡をいたします。

９．勤務地　　国立感染症研究所　戸山庁舎　　東京都新宿区戸山１－２３－１

１０．問い合わせ先
　国立感染症研究所　総務部総務課人事係　刑部
　０３－４５８２－２６２５　　E-mail:jinji@nih.go.jp

１１．国立感染症研究所ホームページＵＲＬ　　http://www.nih.go.jp/niid/ja/

業績目録

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１．　著書

２．学術論文（学会誌発表等）
（１）欧文

（２）邦文

３．学会発表（講演・発表等）

４．外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近５年）

（記入上の注意事項（共通））
１．上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名（発表雑誌名）の順で記載し、それぞれを改行すること。
２．年代の新しいものから順に記載すること。
３．発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。
（例：Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002）
４．欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に（ ）書で和訳を記載すること。
５．各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。（単独は（単）、筆頭は（筆）、その他は（他））
６．著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。
７．長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。
８．査読有りの論文については最低限、記載すること。

（参考例）

１．著書

①労働太郎、厚生太郎
（他炎症の組織病態
○○社，PP.67-87，1989）

２．学術論文
（１）欧文
①Taro kousei、Jiro Kousei、Saburou Kousei、Tarou Roudou、Jiro Roudou、Saburou Roudou
（筆）An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in USA , 2002
（○○○○○○○感染症のアウトブレイクー２００２年アメリカ）
Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

（２）邦文
①厚生太郎、厚生二郎、厚生三郎、労働太郎、労働二郎、労働三郎
（筆）An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in Oosaka, JAPAN, 2004
（○○○○○○○感染症のアウトブレイクー２００４大阪）
Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

３．学会発表
①厚生太郎
（単）ラット皮下腫瘍の消長と○○○の相互関係について
第２５回日本病理学会総会，東京，1989

４．外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近５年）

①厚生労働省、○○（課題名）
期間：平成○○年～平成△△年、金額○○○円／年

②科学研究費補助金、（課題名）□□□□□
期間：平成○○年～平成△△年、金額○○○円／年